

川柳のチカラで、毎日をもっとハッピーに！
はじめよう

川柳のスズメ

令和4年度の新規事業として、厚生会ホームページを活用した「みんなの川柳コンテスト」を12〜1月に開催します。

先行する「みんなのウォーキング」「みんなの写真コンテスト」に続く、WEB参加型の交流事業です。

川柳とは？

川柳は江戸時代中期に始まり、庶民を中心に広がりを見せました。当時、川柳ブームが巻き起こるほど盛り上がった文芸のひとつですが、五七五の十七音でさまざまな人間模様を表現できる楽しさはこの時代にもびつたり。いつでも誰でも気軽に始められますので、趣味や生涯学習として取り入れて頂くことに大変おすすめです。

一句詠むことで毎日をいきいきと。川柳にはストレス社会をうまく乗り越え、ハッピーに過ごすヒントが隠されているような気もします。

あの人気川柳作家が全面協力！

簡単そうなのは分かった。とはいえ、いきなり句を詠むのは、意外と難しい（ハズ）。「いい句を詠むためのヒント、コツが知りたい」という声にお応えするため、今回、公募の川柳コンテストの元祖ともいえる「第一生命サラリーマン川柳コンクール」で

～川柳作家 やすみりえさん からのメッセージ～

川柳は気軽にトライできる文芸
です。

まずは五七五の形を守ることを意識しながら作りましょう。
お題からイメージするさまざまな場面や気持ちをあなたならではの目線で切り取ってみて下さいね！



プロフィール

1972年生まれ。兵庫県神戸市出身。川柳作家。抒情的川柳を中心とした独自の川柳作品を発表し続けるかたわらテレビ・ラジオ・新聞・雑誌の川柳コーナーの選者を幅広く担当。また、企業等の公募川柳の選者・監修も多数務める。各地で初心者向けの川柳ワークショップを開催し、句を詠む楽しさを伝える活動も。句集に『ハッピーエンドにさせてくれない神様ね』『召しませ、川柳』、監修『50歳からはじめる、俳句・川柳・短歌の教科書』等多数。全日本川柳協会会員。日本文藝家協会会員。令和三年度文化庁長官表彰。

やすみ先生から
メッセージが届きました



「皆さんこんにちは。
川柳作家のやすみりえです。
今回、京都市町村職員厚生会様とご一緒に、川柳コンテストと川柳教室を開催させていただくこととなりました。
川柳を通して皆さんと繋がることができたら嬉しいです。
ぜひ気軽にご参加ください。
お待ちしております」

メッセージ視聴は
こちらから



【予告（次号募集）】

人気川柳作家

やすみりえの川柳教室

やすみ先生が川柳の楽しさや魅力を直伝！

日時 **12月10日(土)**
13:00～15:00 (予定)

会場 **文化パルク城陽**

近鉄京都線「寺田」から徒歩5分
(近鉄京都駅から30分程度)

定員 **30名**

内容 **おはなし&ワークショップ**

- ・おはなし (川柳の成り立ち、魅力について)
- ・ワークショップ
作句にチャレンジ
講評

※その他、詳細は次号で
お知らせいたします。

選者をお務めの川柳作家やすみりえ先生に相談をしました。

結果、「京都で川柳を普及させる一助となるのであれば」と、コンテストの監修から川柳教室の講師、その他情報提供まで、全面的な協力をいただけることになりました。

(厚生会HP内「みんなの川柳コンテスト」ページで随時更新)

川柳大募集！

やすみ先生から「まず手始めにコンテスト前の企画を開催してみましよう。」ということので、緊急特別企画「れんぼう川柳」を実施します。
是非ご応募ください(左記参照)。

☆緊急特別企画「れんぼう川柳」

12月開催の新規事業「みんなの川柳コンテスト」に向けた特別企画。コンテスト開催前の慣らしに、句づくりに挑戦しませんか。

応募作品は全て、やすみりえ先生に選考いただきます。結果、見事選出された良作は11・12月号のれんぼう(11月末発行予定)で発表いたします。ご応募お待ちしております。

【お題】 笑う

【注意事項】 五七五を意識しながらお題からイメージする場面や気持ちをあなたならではの目線で切り取りましょう。

【応募期間】 10月25日(火)まで

【結果発表】 11・12月号紙面にて

(やすみりえ選)

応募は
こちら

